

# Mother care サービス レポート

マザーケアサービスとは、ご利用者さまのご自宅などへ、マザーネットのケアリストがお伺いし、お子さまのケアや家事をさせていただくサービスです。

## ■ご利用例 vol.92

2010年6月12日、京都にて、地球温暖化とエネルギーについて考えるイベントが開催されました。その保育をマザーネットが担当させていただきました。

\*\*\*\*\*

### 主催者の方の声

\*\*\*\*\*

## 1. イベントの概要と趣旨

6月12日(土)京都市の池坊短期大学こころホールに於いて、地球温暖化とエネルギーについて考えるイベント「お得！なっ得！トークパーティ」(主催:地球とエネルギーを考える女性の会/共催:関西原子力懇談会)を行いました。

第1部は、作家の神津カンナ氏を聞き手に、家電俳優・細川茂樹氏による「ここだけトーク」で最新の家電情報やお得な家電選びのポイントなどについて楽しいトークをくり広げました。

家電の今後について細川氏は、話題のiPadは、パソコンよりも操作が簡単なので、高齢者にこそ使ってほしいもの。電子書籍も読めるし、ネットショッピングも可能、買い物に行かなくても生鮮食品が家に届くとか。将来の夢は、そういう便利な家電の使い方を教える、全国を回りたい。家電俳優の行きつくところは、“社会貢献俳優”かな(笑)、とのことでした。

第2部では神津カンナ氏の進行で細川茂樹氏、エネルギーの専門家、渥美寿雄氏(近畿大学教授)を迎え、地球とエネルギーを考える女性の会メンバーと共に、地球温暖化防止のために私たちはエネルギーの使い方(省エネ)から一歩進んで、エネルギーの作られ方にまで視野を広げて、みんなで一緒に考えていこうというものでした。

ナチュラルなものが好きな女性には、太陽や風を利用した自然エネルギーは、イメージが良く、好まれる傾向が。でも、2030年でも全体の6%くらいにしかならず、基幹電源として主役を張るのは厳しいことが、渥美先生からお話がありました。逆に、ナチュラルなイメージが皆無な原子力や放射線が、実はとっても自然なものなんだ、ということが紹介されると、参加者の皆さんは感心した面持ちで、熱心に聞き入っていました。

何だかカタそうな内容と思われるかもしれませんが、30~40代の女性を中心に集まった200人の参加者は、楽しいトークに笑い、細川氏の魅力にうっとりしながらも、エネルギーの話題ではしっかりとメモをとるなど、非常に熱心な様子で、楽しんでいただいていたようでした。

## 2. マザーネットさんへ依頼した経緯と感想

今回のイベントでは特に、多くの女性に参加いただいたかったので、小さな子どもを持つお母さんたちにも参加しやすいように、託児サービスを設けることにしました。しかし、託児を行うのは初めてのことで、不案内なことばかり。お預かりしたお子様に間違いがあつては一大事。そこで、「地球とエネルギーを考える女性の会」のメンバーでもあるマザーネットの上田社長にお願いして、助けていただくことになったのです。働くママのためのきめ細かい誠実なサービスが定評の同社のケアリストさんをお願いすれば千人力！と。そしてそのとおり、安心してイベントの実施に集中できました。もちろん、次回もぜひお願いいたします！

### <託児室の受付を担当して>

ケアリストさん達が笑顔で迎えて下さったので、お子様を連れて来られたお母様方もとても話しやすそうでした。また、受付ですぐにケアリストさんを紹介することが出来たので、受付も大変スムーズに進みました。

託児中は、子ども達が「先生！先生！」とケアリストさんにごく親しみを持って接していたのが、印象に残っています。他に、お母さんと離れて泣いていた子が、しばらくして泣き止み、笑顔に変えたケアリストさん達を見て大きな安心感を持ちました。

最後までお子様一人ひとりに対するあたたかい気配り、ありがとうございました。



ケアリストさんとすぐに打ち解けて

\*\*\*\*\*

## マザーネット責任者の声

\*\*\*\*\*

### 快適な保育環境が実現しました

主催者様と、念入りに事前の打ち合わせをさせていただきました。その時に、お話ししておりましたのが、今回のイベントは、一般の方からの応募でしたので、日が近づくまでは保育人数は確定できないとのことでした。最大予想されるお子様の人数を想定しながら、お越しいただいた方に安心して、喜んでいただけるよう、主催者様と準備を進めました。赤ちゃんから小学生まで可能性も幅広く考えて、大きな会議室や応接室など、複数のお部屋を確保していただきました。

そして、最終的には、9名のお子様の保育と決定！

当日は、保育受付開始の30分前に保育場所を整え、ミーティングをいたしました。お子様の人数と年齢に合わせて、遊ぶコーナー作りや、机や椅子の準備、お昼寝の時の確認などをしました。プレーマットにおもちゃを置いて、眠る時のためにタオルケットを敷きました。机には、色鉛筆に画用紙、絵本コーナーなどを作りました。お預かりしたお子様の荷物置き場もご用意いたしました。主催者様が、大きなTVとDVDもご用意くださり、ディズニーを見られることもできる快適な保育環境が実現しました。

### ケアリストとお子様1:1の対応です

受付の準備もてきぱきと進み、お名前札に、お荷物シールも並べて、PM1:30より、受付を開始いたしました。

お見えになった時、お子様もお母様も、そしてお父様も不安な様子ですが、ポラロイドカメラで記念のお写真を撮ると、にっこりチーズ！表情がやわらぎます。ケアリストが「大丈夫ですよ、お

任せください。」と伝えながら、お部屋にご案内します。ミッキーマウスの音と映像が迎えています。ケアリストとお子様1:1の対応で、詳しくお子様のことを、お母様より伺います。

そして、PM2:00から保育がスタートです。とってもおだやかな7カ月の女の子は、すぐにプレーマットで遊び始めました。身の回りのことを何でも楽しんでしまう姿に感心して見ていました。お母様から始めて離れる9カ月の男の子は、ケアリストの胸で注意をそらされながら、お母様を思い出しては泣いて、また泣きやんで。2才の女の子もお母様から離れる時は不安そうな表情でしたが、すぐに輪に入り、絵本、お絵描き、人形遊び、折り紙もたくさん作って遊びました。その女の子の遊ぶ姿を見て、泣いていた赤ちゃんがニッコリ笑顔になりました。小4の男の子と小1の女の子の仲良しご兄弟は、一緒におやつを食べたり、ヨーヨーをして遊んだり、仲むつまじい姿に見ている私たちも自然に笑みがこぼれました。絵を描くのが二人とも、とても上手で、絵にストーリーがあったり、4コママンガを描いたり、ケアリスト一同、感動していました。ディズニーDVDも楽しく見えています。おやつも食べて、おむつも交換。交換後のおむつは、最後にお母様にご確認してから、処分いたします。

PM4:00の終演が近づいてきましたら、お帰りの準備です。それぞれのお子様のお荷物を整理して、おもちゃOK！おむつOK！お母様が小走りでも心配そうにいらっしゃいました。お迎え時のお子様の笑顔は最高です。保育の記録レポートをお渡しして、皆様、担当ケアリストと、保育中の様子を中心に、話の花が咲いています。そして、お子様と「バイバ～イ！」して、ご家族をお見送ります。ケアリストにとっても、お子様との楽しい幸せなひとときとなりました。

マザーケアサービス事業部長 丸岡 八千

### 「地球とエネルギーを考える女性の会（EnerGeo エネルジョ）」とは

「地球とエネルギーを考える女性の会（EnerGeo エネルジョ）」は、エネルギーの生産と消費に伴う地球の問題、すなわち地球温暖化や環境悪化さらには資源枯渇といった問題に対して、身近な視点から取り組み、広く発信することを目的とした会です。私たちは、それぞれ仕事も生活スタイルも異なりますが、日々の暮らしの中ですら聞こえてくる“地球の声”に真摯に耳を傾け、危機意識を持って学習し、持続可能な社会でのエネルギーのあり方について考えようと、心をひとつにして集まりました。ひとりでも多くの方、特に地球上のすべての命を愛し、未来への命のつながりを大事に思う女性の方々に、私たちの会に賛同していただき、地球環境やエネルギー問題を身近に捉え、共に考えていただけるよう活動してまいりたいと存じます。

EnerGeo エネルジョ＝エネルギー（ENERGY）と地球（GEO）を考える女性（＝女 ジョ）から創作した略称です。

[メンバー]代表：竹西亜古（兵庫教育大学大学院教授）

上田理恵子（株式会社マザーネット代表取締役社長）、坂口一美（大阪府 PTA 協議会代表）

澤田有紀（弁護士・みお総合法律事務所代表）、藤田晶子（京都リビング新聞社営業本部ゼネラルマネージャー）

横山須美（藤田保健衛生大学准教授）、東朋子（関西原子力懇談会課長）

[連絡先] 〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4 大阪科学技術センター5F 関西原子力懇談会内

「地球とエネルギーを考える女性の会」事務局 TEL:06-6441-3682 e-mail:info@kangenkon.org